

# 大阪医科大学学報

大学施設増改築第二期工事（本部・図書館棟）完成予想図



**工事概要**

工期 着工 平成5年4月  
 竣工予定 平成6年5月

構造 鉄筋コンクリート造  
 規模 地下1階地上4階  
 延床面積 約5,800㎡

◆目◆

法人 ..... 2  
 叙勲 ..... 2  
 規程改正 ..... 2  
 ティーチング・アシスタント規程を制定 ..... 2  
 診療教授規程及び同細則を制定 ..... 3  
 機器共同利用センター規程等を制定 ..... 4  
 人事 { 名誉教授称号授与、採用  
       昇格・異動、休職・復職  
       委嘱・解嘱、退職、海外渡航 } ..... 6~16  
 中央研究室の名称変更について ..... 16  
 表彰 ..... 16  
 平成5年度主なる事業計画 ..... 16

◆次◆

平成5年度・収支予算 ..... 17  
 平成5年度入学試験状況 ..... 18  
     1) 医学部医学科 2) 大学院医学研究科  
     3) 看護専門学校 ..... 18  
 平成4年度卒業式  
     1) 医学部医学科 2) 看護専門学校 ..... 18  
 平成5年度入学式  
     1) 医学部医学科 2) 大学院医学研究科  
     3) 看護専門学校 ..... 18  
 医師国家試験状況 ..... 18  
 看護婦国家試験状況 ..... 18  
 附属病院平成4年度診療動態 ..... 18  
 学位記授与 ..... 19

## 法 人

評 議 員 退 任 吉 田 康 久	3.31
事 務 顧 問 再 任 北 村 八 郎	4. 1
参 与 就 任 松 村 實	〃
評 議 員 再 任	〃
評 議 員 就 任 鏡 山 博 行	〃
〃 再 任 辻 倉 忠 男	〃

## 叙 勲

勲 1 等瑞宝章 早石 修先生

平成 5 年春の叙勲に於て、前学長・名誉教授  
早石 修先生は 4 月 29 日勲 1 等瑞宝章を受章さ  
れました。

## 規程改正

### ・給与規則中一部改正について

第 5 条第 3 号但し書及び第 7 条を次のように改  
正する。

第 5 条 3 但し、前記家族のうち年額 130 万  
円 (120 万円) 以上の恒常的な所得があると  
見込まれるものについては支給しないものと  
する。

第 7 条 宿直及び日直手当は、次に掲げる額を  
支給する。

1. 教員 宿直及び日直勤務各 1 回に付  
9,400 円 (8,900 円)

但し、土曜日午後 0 時 40 分より引続き宿  
直勤務をする場合は 1 回に付 14,100 円  
(13,350 円)

2. 職員 宿直及び日直勤務各 1 回に付  
5,900 円 (5,600 円)

但し、土曜日午後 0 時 40 分より引続き宿  
直勤務をする場合は 1 回に付 8,850 円  
(8,400 円)

※ ( ) 内は改正前支給額

施行日 平成 5 年 4 月 1 日より

### ・住宅手当支給規程中一部改正について

第 2 条第 3 号を次のように改正する。

第 2 条 3 前条第 2 号に係る職員 4,200 円  
(3,800 円)

※ ( ) 内は改正前支給額

施行日 平成 5 年 4 月 1 日より

## ティーチング・アシスタント規程を制定

### ティーチング・アシスタント規程

(目的)

第 1 条 この規程は、大阪医科大学大学院 (医  
学研究科) 博士課程の学生が、教育的配慮の  
下に学部学生に対する実験、実習等の教育補  
助業務に従事し、これに対する手当支給によ  
り、大学院学生の処遇の改善に資するととも  
に、大学教育の充実及び指導者としてのトレ  
ーニングの機会提供を図るため、必要な事項を  
定める。

(名称)

第 2 条 前条に定める教育補助業務を行う者の  
名称は、ティーチング・アシスタントとする。

(対象)

第 3 条 ティーチング・アシスタントは、大学  
院医学研究科の学生から採用する。

(選考と採用)

第 4 条 ティーチング・アシスタントは、大学  
院専攻授業科目担当教授の上申により、学長  
が定める選考基準により採用する。

(処遇)

第 5 条 ティーチング・アシスタントは、有給  
とする。

2 ティーチング・アシスタントの採用期間は1年を限度とする。但し、再採用することができる。

(勤務時間)

第6条 ティーチング・アシスタントの勤務時間は月40時間(週10時間程度)以内を基準とする。

(勤務報告)

第7条 大学院専攻授業科目担当教授は、毎年度の当初に当該年度のティーチング・アシスタントに係る勤務計画書を、学長に提出するものとする。

2 前項の計画書の様式は、別記様式のとおりとする。

(実施細目)

第8条 この規程に定めるもののほか、ティーチング・アシスタントの実施に関し必要な事項は、大学院委員会において定めるものとする。

附 則

この規程は、平成5年4月1日より実施する。

## 診療教授規程及び同細則を制定

### 診療教授規程

(目的)

第1条 この規程は、大阪医科大学の臨床医学教育と診療の充実を期するため、診療教授を置くことを目的とする。

(診療教授の設置)

第2条 大阪医科大学に、必要があるときは、診療教授を置くことができる。

(診療教授の任命)

第3条 診療教授は大阪医科大学大学院の教員となる資格を有する者の中から、教授会の議を経て、理事長が任命する。

(講座内の地位)

第4条 診療教授は、各講座主任教授の職務を行い又はこれを代行することはできない。

(教授の名称)

第5条 診療教授は、教授と称することができる。

(定数)

第6条 診療教授の総数は9名を超えることができない。

2 診療教授は、各講座毎に定められた定員内の教員とする。但し、中央検査部、中央手術室等各中央診療部門にのみ所属する診療教授は、当該各中央診療部門の定員内の教員とする。

3 診療教授の在籍する講座又は中央診療部門の診療教授が欠けた場合においても、当該講座又は中央診療部門が、診療教授の設置において、優先的地位を与えられることはない。

(細則)

第7条 この規程を実施するために必要な事項は、別に細則で定める。

附 則

1. 診療教授の数は、平成5年度は1名とし、その後必要があるときは、定数の範囲内で、逐年若干名の増員をすることができる。
2. この規則は、平成5年4月1日より施行する。

### 診療教授規程細則

(目的)

第1条 この細則は、「大阪医科大学診療教授規程」の実施について、その細則を定めることを目的とする。

(選考手続)

第2条 診療教授の選考は、講座主任教授の推薦をまっけて行う。

- 2 関係する講座主任教授が複数るときは、その全員の推薦によるものとする。
- 3 診療教授の選考は、選考委員会を設けず、直接教授会において行う。
- 4 前項の選考を受けようとする者は、履歴書及び教育・研究・診療の業績を教授会に提出しなければならない。
- 5 教授会の投票については、「大阪医科大学教授選考規程」第22条から第24条までの規定を準用する。
- 6 診療教授の推薦は、学外者についても、これを行うことができる。

(教授会への出席)

第3条 学長は、必要がある場合は、診療教授に対し、教授会に出席することを求めることができる。

- 2 前項の規定により、診療教授が教授会に出席した場合、意見を述べるることができるが議決に加わることはできない。

(学位論文審査)

第4条 診療教授は、大阪医科大学大学院医学研究科委員及び学位論文審査委員にはならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、必要があるときは、診療教授に、語学試験の出題・採点、学位論文の指導及び学位論文審査委員会における意見の陳述を委嘱することができる。

(臨床教授懇談会への出席)

第5条 診療教授は、臨床教授懇談会に出席するものとする。

(給与等)

第6条 診療教授の給与は別に定める。

(教授数への計上)

第7条 診療教授は、統計その他教授数の調査等においては、教授数に計上するものとする。

附 則

この細則は、平成5年4月1日より実施する。

## 機器共同利用センター規程、同センター長選考規程及び同センター運営委員会規則を制定

### 機器共同利用センター規程

(設置および目的)

第1条 大阪医科大学は、医学の研究と教育の推進を図るため、共同利用施設として機器共同利用センター（以下「機器センター」という）を設置する。

(利用の許可および資格)

第2条 利用資格者は、本学在籍の教職員並びに専攻医、副手および研究生、大学院生とする。学生については、学生研究員として教育的見地から教員の指導のもとにその利用を許可する。

2 その他機器センター長が認めたもの。

3 利用者は、機器センターの定める「利用規約」を遵守しなければならない。

(機器センター長、職員等)

第3条 機器センターに次の職員を置く。

- (1) 機器センター長（以下「センター長」という）
- (2) 副センター長 1名
- (3) その他必要な教職員（教員、技術職員および用務職員）

- 2 センター長は、学長の監督のもとに機器センターの業務を掌握する。
- 3 副センター長は、センター長を補佐し機器センターの業務を処理する。
- 4 その他の職員は、センター長のもとに機器センターの業務に従事する。
- 5 センター長および専任教員の選考に関し必要な事項は別に定める。

6 機器センターは、その円滑な運営を図るため、若干名の兼任職員を置くことができる。  
(運営委員会)

第4条 機器センターの管理運営に関する事項を審議するため、機器センター運営委員会(以下「運営委員会」という)を置く。

2 運営委員会の組織及び運営については別に定める  
(利用者代表、利用者会)

第5条 機器センターの各系・室等に利用者代表を置く。

2 利用者代表は、管轄の各系・室等に関しその利用上の諸問題を討議するため利用者会を必要に応じて召集しその議長となる。

3 利用者代表は、利用者会の運営状況等についてセンター長が定期的に召集する利用者代表会議において報告するとともに必要な事項について協議する。

4 利用者代表は、各系・室等を利用する教員のうちから互選により決定する。

5 利用者会は、機器センター職員および利用者をもって構成する。

(補則)

第6条 この規定に定めるものの他に、機器共同利用センターに関して必要な事項は別に定める。

2 この規程の改訂は、運営委員会の議を経て

教授会の承認をもって行うものとする。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

\* 申し合わせとして、センター長が臨床教授(基礎教授)の場合、副センター長は基礎教授(臨床教授)とする。

### 機器共同利用センター長選考規程

第1条 この規程は、大阪医科大学機器共同利用センター(以下「機器センター」という)規程第3条第5項の規程に基づき、機器センター長(以下「センター長」という)の選考に関し必要な事項を定める。

第2条 センター長候補者の選考は、本学教授のうちから機器センター運営委員会の推薦に基づき教授会が行う。

第3条 教授会は、次の各号の1に該当する場合にセンター長候補者の選考を行う。

- (1) センター長の任期が満了した時
- (2) センター長が辞任を申し出、受理された時
- (3) センター長が欠員となった時

2 センター長候補者の選考は、前項第1号の場合は原則として任期満了の1ヵ月以前に、同項第2号、第3号の場合は、その事由の生じた時、速やかに行うものとする。

第4条 センター長の任期は2年とし再任を妨げない。ただし通算4年をこえることができない。

2 副センター長は、センター長が推薦し教授会が承認した教授が兼任する。その任期は2年とし再任を妨げない。

第5条 運営委員会は、第3条の各号の1に該当する場合に3名のセンター長候補者を教授会に推薦する。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

## 機器共同利用センター運営委員会規則

第1条 この規則は、大阪医科大学機器共同利用センター（以下「機器センター」という）  
規程第4条第2項の規定に基づき、機器センター運営委員会（以下「運営委員会」という）  
に関し必要な事項を定める。

（協議事項）

第2条 運営委員会は、機器センターの管理と運営に関する事項を協議する。

（組織等）

第3条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 機器センター長（以下「センター長」という）
- (2) 副センター長
- (3) 進学課程の物理、化学、生物、数学の各研究室、専門課程の各教室より1名選出された運営委員
- (4) 機器センター教員および技術員から各1名
- (5) 機器センター規程第5条に定める利用者代表。ただし利用者代表は、前記運営委員を兼ねることが出来ない。

2 第3項の委員の任期は2年とする。ただし補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

3 前項の委員は再任されることが出来る。

（委員長等）

第4条 運営委員会に委員長および副委員長を置き、各々センター長および副センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を召集しその議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故ある時はその職務を代行する。

（議事）

第5条 運営委員会は、委員の過半数の出席

（委任状を含む）により議事を開く。

2 採決を要するときは出席委員の過半数の賛否により決し、可否同数のときは議長が決する。

第6条 委員長は、必要があると認めるときは委員会の承認を得て委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴取することが出来る。

（専門委員会）

第7条 運営委員会に専門の事項を調査検討させるため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員は、運営委員会の委員長が委嘱する。

（補則）

第8条 この規則に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

## 人 事

### 名誉教授称号授与

安原 稔（前皮膚科学教授） 4. 1

### 採 用

助 手 山崎 洋之（形成外科学） 3. 1

准看護婦 藤川美智子（病院看護部） //

看護補助員 良山加代子（ // ） //

講 師 小西 正良（解剖学Ⅱ） 4. 1

// 岡田 仁克（病理学Ⅱ） //

助 手 早崎 華（解剖学Ⅱ） //

// 中野 隆史（微生物学） //

// 土手友太郎（衛生学・  
公衆衛生学） //

// 木村 文治（内科学Ⅰ） //

// 相模 昭彦（放射線医学） //

助 手	井上 功 (耳鼻咽喉科学)	4. 1	看 護 婦	井上 尚子 (病院看護部)	4. 1
〃	東川 雅彦 ( 〃 )	〃	〃	上田なおみ ( 〃 )	〃
〃	岩井 恵美 (産婦人科学)	〃	〃	内田しづ子 ( 〃 )	〃
〃	奥田 弘賢 ( 〃 )	〃	〃	内海 景子 ( 〃 )	〃
〃	後藤 真樹 ( 〃 )	〃	〃	大木 美和 ( 〃 )	〃
〃	御前 治 ( 〃 )	〃	〃	大郷久美子 ( 〃 )	〃
〃	鶴長 建充 ( 〃 )	〃	〃	大庭 幸 ( 〃 )	〃
課長補佐	茂幾 周治 (図 書 館)	〃	〃	大本 由加 ( 〃 )	〃
事 務 員	田中 千草 (総務部庶務課)	〃	〃	奥野佐緒理 ( 〃 )	〃
〃	増井 久輝 (総務部教務課)	〃	〃	加藤美由紀 ( 〃 )	〃
〃	愛垣 朋美 (病院事務部 医 事 課)	〃	〃	川原ゆうこ ( 〃 )	〃
〃	工藤 明美 ( 〃 )	〃	〃	姜 真順 ( 〃 )	〃
〃	佐藤しのぶ ( 〃 )	〃	〃	木俣満寿枝 ( 〃 )	〃
〃	寺田 友紀 ( 〃 )	〃	〃	木俣美保子 ( 〃 )	〃
〃	根来 紀子 ( 〃 )	〃	〃	清 恵子 ( 〃 )	〃
〃	山中 雅美 ( 〃 )	〃	〃	久後亜矢乃 ( 〃 )	〃
〃	成迫 紀子 (病院輸血室)	〃	〃	國本 佳美 ( 〃 )	〃
技 術 員	芦田 健次 (病 院 放 射 線 科)	〃	〃	窪田小百合 ( 〃 )	〃
〃	御宮知礼子 (病 院 中 央 検 査 部)	〃	〃	熊谷 好恵 ( 〃 )	〃
〃	牧 亜矢子 ( 〃 )	〃	〃	小谷百合子 ( 〃 )	〃
〃	金村 温子 (病院輸血室)	〃	〃	齋藤 弘子 ( 〃 )	〃
〃	直江 香織 ( 〃 )	〃	〃	佐藤みどり ( 〃 )	〃
〃	山内 雅 ( 〃 )	〃	〃	澤田亜利香 ( 〃 )	〃
技術補助員	兼 弓美恵 (実 験 動 物 セ ン タ ー)	〃	〃	下元 恵美 ( 〃 )	〃
技 能 員	望月 隆広 (病 院事務部 施 設 課)	〃	〃	砂山 充子 ( 〃 )	〃
看 護 婦	相羽 初美 (病院看護部)	〃	〃	滝本ともえ ( 〃 )	〃
〃	朝倉眞理子 ( 〃 )	〃	〃	田原 恭子 ( 〃 )	〃
〃	池野 貴子 ( 〃 )	〃	〃	津留崎ちづ ( 〃 )	〃
〃	泉 里香 ( 〃 )	〃	〃	寺内 澄子 ( 〃 )	〃
〃	伊藤 正美 ( 〃 )	〃	〃	鳥羽 正美 ( 〃 )	〃
〃	井上 智恵 ( 〃 )	〃	〃	富岡 陽子 ( 〃 )	〃
			〃	土肥美津恵 ( 〃 )	〃
			〃	中川 千里 ( 〃 )	〃

看護部	中崎紀美子(病院看護部)	4.1	看護部	吉田糸保美(病院看護部)	4.1
〃	中武 ゆみ( 〃 )	〃	〃	和久利由美( 〃 )	〃
〃	中前 みき( 〃 )	〃	准看護婦	永井 衣美( 〃 )	〃
〃	中村 利恵( 〃 )	〃	保 母	大槻 陽子( 〃 )	〃
〃	中屋 恵子( 〃 )	〃	〃	西田美由紀( 〃 )	〃
〃	永田 智子( 〃 )	〃	〃	濱村 智美( 〃 )	〃
〃	萩野 智絵( 〃 )	〃	看護事務員	窪井加代子( 〃 )	〃
〃	橋場 由佳( 〃 )	〃	〃	松浦 妙子( 〃 )	〃
〃	長谷 純子( 〃 )	〃	〃	森 あかね( 〃 )	〃
〃	濱田 恵美( 〃 )	〃	短 時 間 雇 用 職 員	久保 紀代(病院輸血室)	〃
〃	肥後 友美( 〃 )	〃	助 手	木村 直祐(脳神経外科学)	4.16
〃	平井由里子( 〃 )	〃	〃	奥田 龍三(整形外科)	〃
〃	福島 睦( 〃 )	〃	〃	伊藤 奏(泌尿器科学)	〃
〃	増田裕美子( 〃 )	〃	短 時 間 雇 用 職 員	島田津太子(病院輸血室)	〃
〃	増南 弥生( 〃 )	〃	〃	牧 幸子(病院看護部)	〃
〃	松尾 栄子( 〃 )	〃	助 手	大塚 美実(麻 醉 科 学)	5.1
〃	松園 純子( 〃 )	〃	〃	植田 政嗣(産婦人科学)	〃
〃	松原 陽子( 〃 )	〃	技 術 員	小寺 恵美(病院薬剤部 薬 剤 課)	〃
〃	松見 弓( 〃 )	〃	〃	田中 亮子( 〃 )	〃
〃	松本由加里( 〃 )	〃	〃	西原 雅美(病院薬剤部 製 剤 薬 品 情 報 課)	〃
〃	三重野智子( 〃 )	〃	〃	高山ひとみ(病院薬剤部 薬 品 管 理 課)	〃
〃	南 幸江( 〃 )	〃	技 能 員	奥村 和男(病院事務部 施 設 課)	〃
〃	宮田 千里( 〃 )	〃	短 時 間 雇 用 職 員	飯田 美子(病院看護部)	〃
〃	村上 育枝( 〃 )	〃			
〃	室田 直子( 〃 )	〃			
〃	目黒 博美( 〃 )	〃			
〃	森崎 由美( 〃 )	〃			
〃	安田 麻里( 〃 )	〃			
〃	山崎 優子( 〃 )	〃			
〃	山下 和子( 〃 )	〃			
〃	山田 明美( 〃 )	〃			
〃	山本かおり( 〃 )	〃			
〃	山本 範子( 〃 )	〃			
			<b>昇格・異動</b>		
			解剖学Ⅱ 講 師	後藤 秀幸(助 手)	2.16
			産婦人科学 講 師	後山 尚久( 〃 )	3.1
			病院輸血室 技術補助員	梅田ともり(短 時 間 雇 用 職 員)	〃



**企画室勤務を解く**

病院事務部長代理 常川 治男 (病院事務部) 3.31  
兼医事課長

**企画室付を解く**

課長 平野 勝 (総務部教務課) 3.31

皮膚科学教授 清金 公裕 (助 教 授) 4. 1

耳鼻咽喉科学講師 垣鏑 典也 (助 手) ”

放射線医学講師 足立 至 ( ” ) ”

事務局 局長 兼総務部長 兼財務部長 辻倉 忠男 (事務局 局長代理 兼総務部長 兼財務部長) ”

病院事務部 事務部長 兼医事課長 常川 治男 (事務部長代理 兼医事課長) ”

**総務部企画室長補佐兼務を命ずる**

課長補佐 久保 克己 (総務部庶務課) 4. 1

**総務部企画室付兼務を命ずる**

管財主任 中尾 基克 (総務部庶務課) 4. 1

病院看護部 看護婦長 辻 節子 (看護婦長代理) 4. 1

病院看護部 看護婦長代理 北川 豊美 (看護婦主任) ”

” 秦 八重子 ( ” ) ”

” 森山寿迦子 ( ” ) ”

” 安原久仁子 ( ” ) ”

” 小野恵美子 ( ” ) ”

” 大川真紀子 ( ” ) ”

病院看護部 看護婦主任 楞田 尚子 (看護婦主任代理) ”

” 牟禮 洋子 (臨床指導者) ”

” 浜本由美子 ( ” ) ”

” 麻田 規子 ( ” ) ”

” 江口 博美 ( ” ) ”

病院看護部 看護婦主任 水橋 豊子 (看護婦) 4. 1

” 間曾 啓子 ( ” ) ”

” 西村 尚子 ( ” ) ”

病院看護部 臨床指導者 浅井 明美 (臨床指導者代理) ”

” 高橋 由美 ( ” ) ”

” 三根 京子 (看護婦) ”

病院看護部 臨床指導者代理 高木 裕美 ( ” ) ”

” 菊池 千春 ( ” ) ”

” 高見 恵理 ( ” ) ”

” 野口 智香 ( ” ) ”

” 有馬佐智子 ( ” ) ”

” 上田 千鶴 ( ” ) ”

” 柴田さとみ ( ” ) ”

” 竹田 美和 ( ” ) ”

” 藤原 寛子 ( ” ) ”

” 山本 俊子 ( ” ) ”

病院看護部 看護婦 野村るり子 (准看護婦) ”

” 石垣 由美 ( ” ) ”

” 杉本 冨子 ( ” ) ”

” 河村美咲代 ( ” ) ”

” 椎山 玲子 ( ” ) ”

” 中越 智子 ( ” ) ”

病院看護部 看護事務課長補佐 斉藤千鶴子 (看護事務主任) ”

病院看護部 保育室主任代理 村上 操 (保 母) ”

病院看護部 看護事務員 橋本 高橋千和子 (看護助手) ”

看護専門学校 教務課長 橋本 豊子 (教務課長代理) ”

看護専門学校 専任教員 藤川 千洋 (病院看護部 看護士) ”

麻酔科学  
講 師 赤塚 正文(助 手) 4.16

### 財務部長の兼務を解く

事務局 長  
兼総務部長  
兼財務部長 辻倉 忠男(事務局) 5.1

### 病院事務部医事課長の兼務を解く

病院事務部長  
兼医事課長 常川 治男(病院事務部) 5.1

### 病院事務部管理課長兼務を任ずる

病院事務部長 常川 治男(病院事務部) 5.1

財務部  
財務部長代理  
兼会計課長 池田 良正(会計課長) 5.1

病院事務部  
事務部長代理  
兼用度課長 平野 勝(教務課長) "

総務部  
庶務課長 橋口 直栄(病院事務部  
用度課長) "

総務部  
教務課長 西田 伸忠(教務課長代理) "

病院事務部  
医事課長 稲葉 護(医事課長代理) "

総務部  
教務課長代理 成松 正治(総務部  
庶務課長代理) "

病院事務部  
管理課長代理 吉間 正男(管理課長補佐) "

病院事務部  
医事課長代理 福島 猛(医事課長補佐) "

" 小島 正( " ) "

" 楠 善行( " ) "

総務部  
庶務課長補佐 出坂 秀雄(庶務主任) "

総務部  
教務課長補佐 門田 雅人(教務課主任) "

財務部  
会計課長補佐 小篠 明(会計主任) "

病院事務部  
用度課主任 高井 次雄(用度課事務員) "

### 休職・復職

#### 休職を命ずる

助 手 矢野 貴人(医化学) 4.1

看護婦 河上 葵(病院看護部) "

" 安田 麻里( " ) "

" 和久利由美( " ) "

准看護婦 奥野 晴美( " ) "

" 今村 知美( " ) "

" 前田 厚子( " ) "

" 稲田美穂子( " ) "

" 森元 由美( " ) "

" 山下 智子( " ) "

#### 復職を命ずる

看護婦 原田 恵美(病院看護部) 4.1

" 澤山 純子( " ) "

" 早瀬 麻子( " ) "

准看護婦 野村るり子( " ) "

" 石垣 由美( " ) "

" 杉本 甯子( " ) "

" 河村美咲代( " ) "

" 椎山 玲子( " ) "

" 谷口みどり( " ) "

" 中越 智子( " ) "

### 委嘱・解嘱

#### 学長予定者選挙管理委員会委員長を委嘱する

教 授 美濃 眞(小児科学) 2.10

#### 同上委員会副委員長を委嘱する

教 授 島田 眞久(解剖学Ⅱ) 2.10

**学生部長の委嘱を解く**

教授 吉田 康久 (衛生学・公衆衛生学) 3.31

**学生部長を委嘱する**

教授 鏡山 博行 (医化学) 4.1

**学生部委員会委員を委嘱する**

教授 千原精志郎 (心理学) 4.1  
 " 古谷 榮助 (化学) "  
 " 山崎 隆司 (ドイツ語学) "  
 " 大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ) "  
 " 島田 眞久 (解剖学Ⅱ) "  
 " 今井 雄介 (生理学Ⅰ) "  
 " 宮崎 瑞夫 (薬理学) "  
 " 森 浩志 (病理学Ⅱ) "  
 " 河村慧四郎 (内科学Ⅲ) "  
 " 堺 俊明 (神経精神医学) "  
 " 美濃 眞 (小児科学) "  
 " 高橋 宏明 (耳鼻咽喉科学) "  
 " 田嶋 定夫 (形成外科学) "

助手 北岡 治子 (内科学Ⅰ) 4.1  
 " 浅田 修二 (内科学Ⅱ) "  
 " 多田 秀樹 ( " ) "  
 " 三好 博文 ( " ) "  
 " 名木田 章 (小児科学) "  
 " 玉井 浩 ( " ) "  
 " 三木 正之 ( " ) "  
 " 竹田 幹 (一般・消化器外科) "  
 " 森田 眞照 ( " ) "  
 " 徳岡 覚 (眼科学) "  
 " 瀧田 潤 ( " ) "  
 " 前田 裕子 (放射線医学) "  
 " 寺井 陽彦 (口腔外科学) "  
 " 中川 俊正 (病態検査学) "  
 " 畑中 道代 ( " ) "  
 " 高淵 雅廣 (機器共同利用センター) "  
 " 土居 宗算 (整形外科学) 4.16  
 " 島田 恭光 (リハビリテーションセンター) "

**進学課程主事の委嘱を解く**

教授 岩崎 尚彦 (生物学) 3.31

**進学課程主事を委嘱する**

教授 山崎 隆司 (ドイツ語学) 4.1

**健康管理医兼衛生管理者を委嘱する**

助手 北岡 治子 (内科学Ⅰ) 4.1

**学内講師を委嘱する**

助手 岡崎 芳次 (生物学) 4.1  
 " 伊藤 裕子 (解剖学Ⅰ) "  
 " 石井 権二 (薬理学) "  
 " 上野 浩 (病理学Ⅱ) "  
 " 澤田 健 ( " ) "  
 " 石原 正 (内科学Ⅰ) "

**大学院医学研究科委員会小委員会委員を委嘱する**

教授 大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ) 4.1  
 " 島田 眞久 (解剖学Ⅱ) "  
 " 宮崎 瑞夫 (薬理学) "  
 " 植林 勇 (放射線医学) "  
 " 清水 章 (病態検査学) "  
 " 田嶋 定夫 (形成外科学) "

**同上委員会委員長を委嘱する**

教授 宮崎 瑞夫 (薬理学) 4.1

**平成5年度図書館運営委員会委員を委嘱する**

教 授	古谷 榮助 (化 学)	4. 1
〃	島田 眞久 (解剖学Ⅱ)	〃
〃	藤本 守 (生理学Ⅱ)	〃
〃	宮崎 瑞夫 (薬 理 学)	〃
〃	河村慧四郎 (内 科 学Ⅲ)	〃
〃	榎林 勇 (放射線医学)	〃
〃	田嶋 定夫 (形成外科学)	〃
助 教 授	佐野 浩一 (微生物学)	〃
〃	河野 公一 (衛生学・ 公衆衛生学)	〃
〃	陰山 克 (内 科 学Ⅱ)	〃
〃	植木 實 (産婦人科学)	〃
課長補佐	茂幾 周治 (図 書 館)	〃
主 任	高橋美知代 ( 〃 )	〃

**機器共同利用センター長を委嘱する**

教 授	美濃 眞 (小児科学)	4. 1
-----	-------------	------

**医学情報処理センター長を委嘱する**

教 授	宮崎 瑞夫 (薬 理 学)	4. 1
-----	---------------	------

**同上副センター長を委嘱する**

教 授	河邊 六男 (物 理 学)	4. 1
-----	---------------	------

**医学情報処理センター運営委員会委員を委嘱する**

教 授	千原精志郎 (心 理 学)	4. 1
〃	東 郁郎 (眼 科 学)	〃
助 教 授	小寺 邦彦 (生理学Ⅱ)	〃
〃	植野 洋志 (医 化 学)	〃
助 手	徳岡 覚 (眼 科 学)	〃
〃	山本 隆一 (中央検査部)	〃

**実験動物センター長の委嘱を解く**

教 授	森 浩志 (病理学Ⅱ)	3.31
-----	-------------	------

**実験動物センター長を委嘱する**

教 授	今井 雄介 (生理学Ⅰ)	4. 1
-----	--------------	------

**実験動物センター兼務を命ずる**

助 教 授	河野 公一 (衛生学・ 公衆衛生学)	4. 1
講 師	前田 環 (病理学Ⅱ)	〃
助 手	森田智津子 (微生物学)	〃

**実験動物センター運営委員会委員を委嘱する**

教 授	今井 雄介 (生理学Ⅰ)	4. 1
助 教 授	東 克 (生物学)	〃
講 師	窪田 隆裕 (生理学Ⅱ)	〃
〃	前田 環 (病理学Ⅱ)	〃
〃	三宅 裕治 (脳神経外科学)	〃
助 手	石井 権二 (薬 理 学)	〃

**動物実験委員会委員を委嘱する**

教 授	山崎 隆司 (ドイツ語学)	4. 1
〃	今井 雄介 (生理学Ⅰ)	〃
〃	森 浩志 (病理学Ⅱ)	〃
講 師	窪田 隆裕 (生理学Ⅱ)	〃
助 手	石井 権二 (薬 理 学)	〃
	金田しのぶ (高槻保健所長)	4. 9

**同上委員会委員長を委嘱する**

教 授	森 浩志 (病理学Ⅱ)	4.21
-----	-------------	------

**平成5年度同和教育推進委員会委員を委嘱する**

教 授	矢次 正利 (哲 学)	4. 1
〃	大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ)	〃

教授	岩動孝一郎	(泌尿器科学)	4. 1
助教授	佐野 浩一	(微生物学)	〃
	〃	古川 哲夫 (口腔外科学)	〃
講師	橋本 和明	(病理学Ⅰ)	〃
	〃	後藤 俊幸 (微生物学)	〃
助手	徳田 正邦	(小児科学)	〃
	〃	清水 一弘 (眼科学)	〃
課長	平野 勝	(総務部教務課)	〃
課長補佐	福島 猛	(病院事務部 医事課)	〃

#### 同上委員会委員長を委嘱する

教授	矢次 正利	(哲学)	4. 1
----	-------	------	------

#### 教員人事に関する事項の検討委員会委員を委嘱する

教授	岩崎 尚彦	(生物学)	4. 1
	〃	山崎 隆司 (ドイツ語学)	〃
	〃	島田 眞久 (解剖学Ⅱ)	〃
	〃	吉田 康久 (衛生学・ 公衆衛生学)	〃
	〃	東 郁郎 (眼科学)	〃
	〃	高橋 宏明 (耳鼻咽喉科学)	〃

#### 同上委員会委員長を委嘱する

教授	東 郁郎	(眼科学)	4.21
----	------	-------	------

#### 平成5年度同和教育推進委員会委員の委嘱を解く

課長	平野 勝	(総務部教務課)	4.30
----	------	----------	------

#### 平成5年度同和教育推進委員会委員を委嘱する

課長	西田 伸忠	(総務部教務課)	5. 1
----	-------	----------	------

#### 組換えDNA実験安全委員会委員の委嘱を解く

課長代理	成松 正治	(総務部庶務課)	4.30
------	-------	----------	------

#### 組換えDNA実験安全委員会委員を委嘱する

課長	橋口 直栄	(総務部庶務課)	5. 1
----	-------	----------	------

#### 放射線安全委員会委員の委嘱を解く

課長代理	成松 正治	(総務部庶務課)	4.30
------	-------	----------	------

#### 放射線安全委員会委員を委嘱する

課長	橋口 直栄	(総務部庶務課)	5. 1
----	-------	----------	------

#### 退職

助手	卞 美栄	(形成外科学)	2.15
技術員	深田恵利奈	(病院輸血室)	2.28
看護婦	大林 紀子	(病院看護部)	〃
教授	安原 稔	(皮膚科学)	3.31
助教授	金崎 美樹	(放射線医学)	〃
講師	後藤 秀幸	(解剖学Ⅱ)	〃
	〃	宇野 功 (耳鼻咽喉科学)	〃
助手	中川 眞代	(生理学Ⅱ)	〃
	〃	井上 桂 (医化学)	〃
	〃	田中恵津子 (微生物学)	〃
	〃	島田 徹 (内科学Ⅰ)	〃
	〃	澤田 出 (整形外科)	〃
	〃	池田 朗 (耳鼻咽喉科学)	〃
	〃	山田 隆司 (産婦人科学)	〃
	〃	清木 康雄 (〃)	〃
	〃	山下 英俊 (〃)	〃
事務局長	松村 實	(事務局)	〃
薬剤部長代理	山本 博和	(病院薬剤部)	〃
課長	曾我部昭美	(図書館)	〃

事務員	盛 昭雄 (総務部教務課)	3.31	看護婦	谷上眞里子 (病院看護部)	3.31
技術員	角 みふく (病院輸血室)	〃	〃	中野 美鶴 ( 〃 )	〃
技能員	渡辺菊一郎 (病院事務部 施設課)	〃	〃	藤井 里美 ( 〃 )	〃
看護副部長	原田美智子 (病院看護部)	〃	〃	前上門正子 ( 〃 )	〃
主 任	川野 栄子 ( 〃 )	〃	〃	水垣 直美 ( 〃 )	〃
〃	宮口 牧子 ( 〃 )	〃	〃	三田村佳子 ( 〃 )	〃
臨床指導者	大野 清美 ( 〃 )	〃	〃	石上 恵子 ( 〃 )	〃
看護婦	泉 真由美 ( 〃 )	〃	〃	岩野 稚子 ( 〃 )	〃
〃	内海由貴子 ( 〃 )	〃	〃	大倉 恵子 ( 〃 )	〃
〃	河井 順子 ( 〃 )	〃	〃	小坂菜穂子 ( 〃 )	〃
〃	松島みゆき ( 〃 )	〃	〃	坂 尚江 ( 〃 )	〃
〃	山下 幸美 ( 〃 )	〃	〃	島内 理恵 ( 〃 )	〃
〃	吉岡早知子 ( 〃 )	〃	〃	新庄由美子 ( 〃 )	〃
〃	小田 麻子 ( 〃 )	〃	〃	長谷川涼子 ( 〃 )	〃
〃	岸田 由美 ( 〃 )	〃	〃	桧原佐登里 ( 〃 )	〃
〃	村上 三佳 ( 〃 )	〃	〃	藤原 睦 ( 〃 )	〃
〃	岡崎 美穂 ( 〃 )	〃	〃	山下美穂子 ( 〃 )	〃
〃	金沢 教子 ( 〃 )	〃	〃	渡邊りつ子 ( 〃 )	〃
〃	神薗 由佳 ( 〃 )	〃	〃	今島中百合子 ( 〃 )	〃
〃	川本 美紀 ( 〃 )	〃	〃	大城 洋子 ( 〃 )	〃
〃	齋藤ルリ子 ( 〃 )	〃	〃	岡崎由紀子 ( 〃 )	〃
〃	田中 礼子 ( 〃 )	〃	〃	小柳 京子 ( 〃 )	〃
〃	西村かおり ( 〃 )	〃	〃	坪田 百代 ( 〃 )	〃
〃	濱田 和恵 ( 〃 )	〃	〃	長谷川仁美 ( 〃 )	〃
〃	山崎 和代 ( 〃 )	〃	〃	正木みゆき ( 〃 )	〃
〃	今林 晶子 ( 〃 )	〃	〃	山崎 早苗 ( 〃 )	〃
〃	大竹野里美 ( 〃 )	〃	〃	茨木 明子 ( 〃 )	〃
〃	金子 千秋 ( 〃 )	〃	〃	阪下 明美 ( 〃 )	〃
〃	亀田 旬子 ( 〃 )	〃	〃	明治まゆみ ( 〃 )	〃
〃	小笹 賀子 ( 〃 )	〃	准看護婦	宮脇 玲子 ( 〃 )	〃
〃	杉野 祐子 ( 〃 )	〃	〃	檀 妙子 ( 〃 )	〃
〃	田中 裕子 ( 〃 )	〃	看護事務員	伊藤 道子 ( 〃 )	〃
			〃	岡崎 笑子 ( 〃 )	〃

看護事務員 児玉佳代子(病院看護部) 3.31  
 " 小川久美子( " ) "  
 看護補助員 中川タツエ( " ) "  
 " 中村 茂子( " ) "  
 専任教員 榎蘭美知子(看護専門学校) "  
 短時間雇用職員 藤井 幸子(病院看護部) "  
 技術員 金村 温子(病院輸血室) 4.23  
 助手 岡本 吉明(産婦人科学) 4.30  
 技術員 直江 香織(病院輸血室) "  
 " 山内 雅( " ) "  
 栄養士 東 直美(病院事務部、栄養給食課) "  
 看護婦 田中登志子(病院看護部) "  
 " 館沼 朋子( " ) "  
 准看護婦 奥野 晴美( " ) 5.15

## 海外渡航

### 留学

矢野 貴人(医化学助手)  
 アメリカ  
 (カリフォルニア大学、バークレー校)  
 H.5. 4. 1 ~ H 6. 3. 31

### 出張

東 郁郎(眼科学教授)  
 台湾(台北) 2. 13 ~ 2. 16

宮崎 瑞夫(薬理学教授)  
 奥西 秀樹( " 助教授)  
 宋 景富( " 講師)  
 香港 2. 16 ~ 2. 20

西村 光(内科学Ⅲ助手)  
 香港 2. 17 ~ 2. 20

江村 成就(神経精神医学助手)  
 アメリカ(ハワイ) 3. 12 ~ 3. 20

高畑 龍一(神経精神医学助手)  
 アメリカ(ハワイ) 3. 13 ~ 3. 19

佐々木 進次郎(胸部外科学助教授)  
 アメリカ(アナハイム) 3. 13 ~ 3. 20

蓑原 靖一良(胸部外科学助手)  
 アメリカ(ロスアンジェルス) 3.13 ~ 3.20

宮崎 瑞夫(薬理学教授)  
 オランダ(アムステルダム) 3. 16 ~ 3. 24

石井 誠志(医化学助手) 3. 20 ~ 3. 28  
 畠山 和幸( " ) " ~ 4. 2  
 アメリカ(オレンジシティ)

田窪 孝行(病態検査学講師)  
 スペイン(セビリア) 3. 24 ~ 4. 2

足立 至(放射線医学助手)  
 フランス(カンヌ) 4. 25 ~ 5. 2

梁 壽男(一般・消化器外科学助手)  
 長田 啓嗣( ICU " )  
 カナダ(バンフ) 4. 23 ~ 5. 3

植木 實(産婦人科学助教授)  
 植田 政嗣( " 助手)  
 アメリカ(シカゴ) 5. 8 ~ 5. 17

鏡山 博行(医化学教授)  
 韓国(ソウル) 5. 13 ~ 5. 18

小出 尚志（内科学Ⅲ助手）

浮村 聡（　　　　　）

スイス（ジュネーブ）5. 14～5. 23

### ・中央研究室の名称変更について

中央研究室の名称を、機器共同利用センターに変更する。

変更年月日 平成5年4月1日

## 表 彰

### 「第21会大阪府医療功労賞」

主催 読売新聞社 後援 厚生省他

附属病院リハビリテーションセンター小田省三技師長は長年に亘る理学療法の治療、研究並びに後進育成の功労に対して平成5年2月24日第21回大阪府医療功労賞を受賞した。

### 「大阪府知事表彰」

附属病院吉成昌郎薬剤部長は薬剤師業務の適正評価、薬剤師の学術及び職能向上に尽力したことの功績が認められ平成5年5月3日大阪府知事より表彰を受けた。

### 「平成5年度大阪府看護事業功労者表彰」

主催 大阪府

附属病院看護部小林千恵子看護副部長は長年に亘る看護業務の充実と発展並びに後進の育成に対する功労により平成5年5月8日大阪府知事より表彰を受けた。

## 平成5年度主なる事業計画

A) 大学施設増改築第2期工事（本部・図書館棟）

B) 研究診療設備拡充計画

1. 生体試料質量分析システム 1式  
（研究装置補助金申請物件）
2. 分子設計支援システム 1式  
（研究設備補助金情報関係申請物件）
3. 高周波温熱治療装置 1式
4. X線TVシステム装置 1式
5. 乳房X線撮影装置 1式
6. 診断用X線泌尿器装置 1式
7. レーザ手術装置 1式
8. 血清自動測定装置 1式
9. 長時間心電図解析装置 1式
10. アルゴン・ダイレーザー光凝固装置 1式

C) 教育実習用機器整備計画

D) 施設改修整備計画

1. 進学課程（物理学・化学・生物学）教室  
空調設備工事
2. 実験動物センター改修工事
3. 附属病院中央監視盤改修工事
4. 看護婦寮（愛泉寮・清泉寮）排水市下水道管放流工事
5. 構内駐車場周辺整備工事
6. 駐車場管制システム整備費
7. 附属病院2号館冷温水配管改修工事
8. 看護婦寮（愛泉寮）改修工事

E) 図書館整備計画

1. 図書館業務処理用電算機 1式
2. 図書館蔵書整備費



# 平成5年度・収支予算

## 資金収支予算

(単位：千円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成5年度 予算額	平成4年度 予算額	増・減(△)	科 目	平成5年度 予算額	平成4年度 予算額	増・減(△)
学生生徒等納付金収入	2,379,098	2,381,038	△ 1,940	人件費支出	10,656,222	10,058,478	597,744
手数料収入	67,275	60,605	6,670	教育研究経費支出	10,453,998	9,345,768	1,108,230
医療収入	18,743,083	17,242,311	1,500,772	管理経費支出	873,563	752,909	120,654
寄付金収入	180,000	120,000	60,000	借入金等利息支出	188,025	209,306	△ 21,281
補助金収入	1,626,018	1,493,201	132,817	借入金等返済支出	1,293,923	1,325,903	△ 31,980
資産運用収入	572,095	714,957	△ 142,862	施設関係支出	2,062,655	910,907	1,151,748
資産売却収入	0	351	△ 351	設備関係支出	829,427	875,337	△ 45,910
事業収入	215,462	112,256	103,206	資産運用支出	288,559	346,092	△ 57,533
雑収入	191,044	227,940	△ 36,896	その他の支出	2,750,957	2,228,738	522,219
借入金等収入	1,639,600	989,600	650,000	予備費	300,000	300,000	0
前受金収入	1,287,280	1,243,090	44,190	資金支出調整勘定	△ 2,520,413	△ 2,166,406	△ 354,007
その他収入	4,211,265	3,233,682	977,583	次年度繰越支払資金	4,913,868	4,748,390	165,478
資金収入調整勘定	△ 4,620,200	△ 4,379,590	△ 240,610				
前年度繰越支払資金	5,598,764	5,495,981	102,783				
収入の部合計	32,090,784	28,935,422	3,155,362	支出の部合計	32,090,784	28,935,422	3,155,362

## 消費収支予算

(単位：千円)

消 費 収 入 の 部				消 費 支 出 の 部			
科 目	平成5年度 予算額	平成4年度 予算額	増・減(△)	科 目	平成5年度 予算額	平成4年度 予算額	増・減(△)
学生生徒等納付金	2,379,098	2,381,038	△ 1,940	人件費	10,925,642	10,360,973	564,669
手数料	67,275	60,605	6,670	教育研究経費	11,630,851	10,516,387	1,114,464
医療収入	18,743,083	17,242,311	1,500,772	管理経費	947,472	802,468	145,004
寄付金	237,900	165,400	72,500	借入金等利息	188,025	209,306	△ 21,281
補助金	1,626,018	1,493,201	132,817	資産処分差額	7,850	35,486	△ 27,636
資産運用収入	572,095	714,957	△ 142,862	徴収不能額	3,000	2,850	150
事業収入	215,462	112,256	103,206	予備費	300,000	300,000	0
雑収入	191,044	227,940	△ 36,896	消費支出の部合計	24,002,840	22,227,470	1,775,370
帰属収入合計	24,031,975	22,397,708	1,634,267				
基本金組入額合計	△ 2,654,985	△ 1,817,089	△ 837,896				
消費収入の部合計	21,376,990	20,580,619	796,371	当年度消費支出超過額	2,625,850	1,646,851	

注：資金収支・消費収支両予算に共通する科目で予算額に差異のある科目については下記の理由による。

1. 「寄付金」には、資金収支予算上の寄付金のほかに、消費収支予算では現物寄付金が計上されている。
2. 「人件費」には、支払給与のほかに、資金収支予算では退職金支出額が計上されるのに対し、消費収支予算では退職給与引当金繰入額が計上されている。
3. 「教育研究経費」「管理経費」には、資金収支予算上の支払経費のほかに、消費収支予算ではそれぞれに減価償却額が計上されている。

## 平成 5 年度入学試験状況

		志願者数	受験者数	入学者数
医学部	医学科	1,209	1,089	103
大学院	医学研究科	27	27	25
看護専門学校	第一看護学科	315	278	44
	第二看護学科	124	114	48

## 平成 4 年度卒業式

### 1) 医学部医学科

3月25日(木)午後2時より 100名  
於 大学臨床第一講堂

### 2) 看護専門学校

3月12日(金)午後2時より  
於 大学臨床第一講堂  
第一看護学科(8回生)29名  
第二看護学科(24回生)45名

## 平成 5 年度入学式

### 1) 医学部医学科

4月10日(土)午後2時より 103名  
於 大学臨床第一講堂

### 2) 大学院医学研究科

4月15日(木)午後2時より 25名  
於 大学第一会議室

### 3) 看護専門学校

4月8日(木)午後1時より  
於 大学臨床第一講堂  
第一看護学科 44名  
第二看護学科 48名

## 医師国家試験状況

### 第87回医師国家試験

受験者数119名(新卒100名、既卒19名)  
合格者数109名(新卒92名、既卒17名)  
合格率91.6%(新卒92%、既卒89.47%)  
(全国平均90.06%、私立医大平均86.8%)

## 看護婦国家試験状況

	受験者数	合格者数
第一看護学科	29名	29名
第二看護学科	45名	44名

## 附属病院

### 診療動態

平成3年度・4年度(年間……1日平均)

区分	入院		外来
	入院患者数	稼働率	外来患者数
3年度	863人	87.8%	2,459.4人
4年度	866	88.1	2,518.5

(内訳)

上半期(4月～9月……1日平均)

区分	入院		外来
	入院患者数	稼働率	外来患者数
3年度	876人	89.1%	2,449.5人
4年度	873	88.8	2,503.9

下半期(10月～3月……1日平均)

区分	入院		外来
	入院患者数	稼働率	外来患者数
3年度	849人	86.4%	2,469.7人
4年度	858	87.3	2,533.9

## 学 位 記 授 与

(交付年月日 5 . 3 . 24)

番 号	氏 名	論 文 題 名
甲第453号	南 敏 明	Allodynia evoked by intrathecal administration of prostaglandin $F_{2\alpha}$ to conscious mice (PGF <sub>2<math>\alpha</math></sub> のマウス髄腔内投与による allodynia)
甲第454号	守 屋 伸 一	緑内障の動体認知の視野に関する研究
甲第455号	小 川 竜 介	Role of the Endothelium on Extraluminal and Intraluminal Vasoactive Mechanisms in the Perfused Rabbit Basilar Artery (灌流システムを用いた家兎脳底動脈の薬理学的反応に関する研究 —特に血管内・外腔に投与された薬物の反応性に対する内皮細胞の影響について—)
甲第456号	織 田 行 雄	Urinary Cresol Isomere as Indices for Toluene Exposure (トルエン暴露指標としての尿中クレゾール異性体)
甲第457号	福 田 弥一郎	Circumvention of Multidrug Resistance of Leukemia Cells by the Anti-allergic Agent Azelastine (抗アレルギー剤アゼラスチンによる白血病細胞の多剤耐性の克服に関する研究)
甲第458号	小 畑 仁 司	ヒト免疫不全ウイルス 1 型 (HIV-1) 感染者におけるウイルス分離率と逆転写酵素活性阻止抗体の相関について
甲第459号	前 谷 二 朗	頸椎黄色靭帯における enthesophyte の発生機序に関する研究 —特に局所力学的要因について—
甲第460号	占 部 健	A non-radioisotopic reverse transcriptase assay using biotin-11-deoxyuridinetriphosphate on primer-immobilized microtiter plates (ビオチン化 dUTP とプライマー固相化マイクロプレートを応用した非放射性逆転写酵素活性測定法)
甲第461号	中 川 浩 彰	低血圧麻酔下における脊髄牽引の脊髄に及ぼす影響に関する実験的研究
甲第462号	萬 野 理	Glioma の悪性度判定における MRI の有用性 —悪性度スコアの算出—
甲第463号	田 辺 英 紀	脳内血腫の局所脳組織圧および局所脳循環に及ぼす物理学的影響に関する実験的研究
甲第464号	石 津 恒 彦	末梢神経伸長損傷に関する実験的研究 —伸長神経支配筋の機能的変化について—
乙第572号	石 川 啓	Measurement of Life Stress by Means of the Multi-Modal Questionnaire for Life Events Survey and an Evaluation of its Validity I、II (多面的生活ストレス質問紙による生活ストレスの測定とその妥当性 I、II)
乙第573号	阪 口 正 博	24時間胃内 pH モニタリングによる難治性胃潰瘍の病態と治療に関する臨床的研究

番 号	氏 名	論 文 題 名
乙第574号	大 野 正 博	脳死判定における無呼吸テストの心血管系、酸素需給バランスに及ぼす影響
乙第575号	兜 坂 法 文	片眼の白内障手術による交感性反応の検出とその定量的検討
乙第576号	西 垣 昌 人	糖尿病患者における水晶体自発蛍光の研究
乙第577号	吉 田 準 一	Relationship between Bone Mineral Density and a Variety of Factors in Oophorectomized and Postmenopausal Women (卵巣摘出術施行および閉経婦人における骨塩量と各種要因の関係について)
乙第578号	別 所 康 守	Studies on serum fluoride concentrations among gastrectomized patients —Its influence on health control of hydrofluoric acid workers— (胃切除者における血清中フッ素濃度の変動について —フッ素作業者の健康管理指標にあたる影響—)
乙第579号	槇 野 茂 樹	Adult T-cell leukemia-derived factor/thioredoxin expression on the HTLV-I transformed T-cell lines: heterogenous expression in ATL-2 cells (HTLV-I 陽性 T 細胞株における成人 T 細胞性白血病由来因子 (ADF) の発現 : ATL-2 細胞における発現の不均一性)
乙第580号	植 山 正 邦	Hemodynamic and neurohumoral responses to exercise in patients with congestive heart failure (うっ血性心不全患者における運動負荷時の血行動態および神経液性因子の反応)

大阪医科大学学報 第16号

発行年月日 平成5年5月15日

発 行 学校法人 大阪医科大学

発行責任者 事務局長 辻 倉 忠 男

編集・発行 総 務 部 庶 務 課